



教育センターだより

平成30年6月25日 文責 渡辺富美夫

運営協議会委員委嘱状交付式及び 第1回運営協議会



教育センターの進むべき方向を探るため、6月6日（水）に16名の運営協議会委員委嘱状交付式及び第1回運営協議会が行われました。運営協議会委員長に、町校長会長の船津小学校長渡辺信先生が、副委員長には、町P連会長の河口湖北中学校PTA会長大関一孝さんが承認されました。

教育長より、「教育センターの4つの事業の1つである教育相談において、センターは、学校に行けない子にとって居場所となり、進路の不安に寄り添うなど進むべき方向を導いてくれるところとして、大きな役割を担っている。他の事業も本町における教育振興の重要な役割を担っているので、運営協議会の皆様を中心に、センター事業がより推進されることを願っている。」などと話されました。

議事の中では、所長より、教育センターの概要説明があり、話し合いがなされました。

話し合いでは、「センターが大切な場所となっていて、卒業後も1日も休んでいない生徒もいる。大人を信頼するということを培っている。また、担任との連携もあり、ありがたい。」「派遣事業により、教員が出張でも授業を進めることができている。」など有用性が挙げられました。また、「町広報紙に教育相談の案内が掲載されているが、活動を理解していただき、さらにセンターが利用されていけたらいい。」などの意見も出されました。特別研究員や多くのボランティア・連携機関にも知恵をいただきながら検討し、目標・実行・評価・改善のPDCAサイクルに基づき、適切な評価と改善を図り、真に子ども達のためになる教育センターを目指して、努めていきたいと考えています。



町単・組合単・期採・代替職員研修会 全3回終了

5月11日・18日・6月1日の計3回、研修会を行いました。学校では、日々の授業はもちろん、多くの行事のため、自己研修の時間や情報収集・交換など、十分とれないのが現状です。終了後のアンケートに、「諸先輩方による貴重な意見やアドバイスを聞くことのできるよい機会となりました。また、同じように教員を目指している人々との意見交換や交流にもつながったため、通常の学校業務にも利用することのできる知識の獲得の場としても機能としても、自分自身の教育に対する熱意の向上にもつなげることができました。」「心を動かされる話を聞かせていただきました。なぜ、教員になりたいのかが、忙しさのあまりぼんやりとしてしまっていた私でしたが、今一度考え直してはつきりするようになりました。」「とても大切な機会です。継続してほしい！」などの感想が寄せられました。研修会は、山梨県の目指す「主体的に学び続ける教師」を育てる一助です。